

JSG(広州日本人学校)夏祭り



夏休みを前に広州日本人学校夏祭りが開催されました。PTAが中心となって運営している出店コーナーを回って楽しむ、日本のお祭りを思い起こさせるような催しです。子どもたちの間では数日前からこの日を楽しみにする会話が交わされ盛り上がっていました。

今年も、校舎のあちこちに、食べ物の店やゲームの店が開店しました。フランクフルトの店では、お母さん方が下さりえをしたフランクフルトを、お父さんたちが次々と焼く、見事な連携プレーがみられました。食べた子どもたちはいつもよりおいしく感じたのではないのでしょうか。ゲームの店には、ヨーヨーつりや段ボール迷路、スマートボール、スローイングゲーム、フォトコーナーなどが用意されました。それぞれ手作りの用具を使ったユニークなもので、クリアすると景品がもらえます。どのコーナーにも子どもたちの順番を待つ長い行列ができていました。また、普段読み聞かせボランティアをしているグループは、この日のために準備をしてきた「おかめ列車」の読み聞かせと工作コーナーを出店して楽しませました。さらに、お祭りといえば定番の風船アートや綿あめを出店したおやじの会のコーナーにも子どもたちの行列ができました。「おやじ」たちは汗だくになりながら休み無く作り続けたのですが、時間切れで手に入れられなかった子どもたちからは残念そうな声が上がりました。



午後2時から始まった盆踊りでは炭坑節と東京音頭を輪になって踊りました。盆踊りが初めてという子どももあり、この日のために練習もしました。浴衣を着た子どもたちがかわいらしく踊る姿に少し日本の夏の夜の雰囲気を感じられる時間となりました。

そして祭りを締めくくる「ラッキードロー」。今年度は64の企業団体から協賛品の提供を受け、404名に景品が渡ったそうです。次々と当選者が発表されるたびに体育館がどよめき、大変盛り上がりしました。

今年度の夏祭りも盛会のうちに終わることができました。これも、PTA役員やボランティアの方々、多くの協賛企業の協力あつてのことです。広州日本人学校が皆様に支えられ愛されていることを改めて実感しました。広州日本商工会会員の皆様にも改めて御礼申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

